

平成22年度 ふくしま里帰り展図録

ふくしまの 土偶



福島県文化財センター白河館 まほろん

平成 22 年度 ふくしま里帰り展図録

ふくしまの 土偶

福島県文化財センター白河館 まほろん

ふくしま里帰り展

「ふくしまの土偶」によせて

本年は里帰り展として土偶をテーマにしました。土偶は縄文文化を象徴するものです。縄文時代の日本列島では、各地でさまざまな土偶が作られました。また土偶は時期により種々に変化しており、ふくしまでも独自の姿をした土偶がその時々にならわれています。

土偶の中には県外の機関などに所属していて、みることの難しいものもあります。それを里帰りさせ、また、県や各市町村教育委員会などにあるものもできるだけ集めました。さらに、「まほろん」で管理しているものを加えて、一緒にしてみたいというとする展覧会です。

ふくしまの土偶の主要なものを集めることができました。主なものの写真、所蔵機関、参考文献などを中心にした図録を編集しました。ふくしまの土偶の目録と考えていただきたいと思います。

縄文人がそれぞれの思いを込めて一生懸命に土偶を作ったことは確かです。ご覧いただく皆さんがそれに思いを馳せて、お一人お一人が土偶の姿や表情から何かを感じていただければと思います。そうしたことができるように展示も工夫したつもりです。

平成 22 年 9 月

福島県文化財センター白河館長

藤本 強

例言

1. 本書は福島県文化財センター白河館平成22年度ふくしま里帰り展「ふくしまの土偶」の展示図録である。この展示は、福島県文化財センター白河館(平成22年9月25日～11月28日)、福島県立博物館(12月7日～平成23年1月30日、共催：福島県立博物館)の2会場での開催となっている。
2. 図録は基本的に展示の構成に沿っているが、掲載した写真の順番・内容は必ずしも展示資料と一致していない。また、本書に掲載している資料で展示されていないものもある。
3. 写真の掲載にあたっては、縮尺不同とした。
4. 巻末に展示資料一覧・参考文献一覧を付した。
5. 資料を出土した遺跡名、資料の所蔵者はその都度記載した。
6. 「ふくしまの土偶」展の開催にあたり、多くの機関並びに個人の協力をいただいた。巻末「協力機関・協力者」欄に記して、感謝の意を表す。
7. 本展示会の企画並びに本書の編集は、福島県文化財センター白河館職員(轡田克史・吉野滋夫・丹治篤嘉・芳賀英一)が担当した。

「ふくしまの土偶」の里帰り

福島県は大正 11 年（1922 年）から昭和 10 年（1935 年）にかけて、『福島縣史蹟名勝天然記念物調査報告』を編集・発行し、磐城海岸・赤井谷地の植物調査、泉沢磨崖仏、県内発見の土偶、県内の古墳の分布、沼沢火山、南湖公園、若松城址の詳細な調査報告を行っている。この事業は、当時の福島県学務部嘱託県史蹟調査主任小此木忠七郎を中心として行われたもので、土偶に関しては、昭和 2 年（1927 年）に『福島縣史蹟名勝天然記念物調査報告第四 福島縣發見石器時代土偶圖版』、昭和 5 年（1930 年）に同書解説を小此木自身の執筆・編集により発行している。

小此木忠七郎は、シーボルトに蘭医学を学んだ二本松藩医小此木天然の孫で、天然の子、小此木間雅（玄智）の四男として二本松に生まれた。福島師範学校中等小学師範学科を明治 17 年（1884 年）に卒業し、東北学院、明治女学校などの教員を経て福島県の嘱託となっている。明治女学校教員時代には、島崎藤村と親交があり、島崎の文学人生に大きな影響を与えたことで著名である。また戦前の日本刀研究の第一人者でもあり、考古学の上では、世界的に著名な人類学・考古学者鳥居龍蔵博士の本県主催夏期大学講師への招聘（鳥居龍蔵 1925 年『有史以前の跡を尋ねて』）、福島県史蹟調査事業として行った東京帝国大学人類学教室松村瞭・山内清男らとの新地貝塚、松村瞭・八幡一郎らとの真石貝塚などの発掘調査があげられるが、最大の業績は、全国に先駆けて、この土偶集成を行ったことである。

昭和 2 年に発行された土偶図版は図版数 39 葉からなり、収録土偶 67 点、土版 4 点、土偶形容器 1 点、石製品 1 点という豊富な内容で、これらはすべて本県で発見されたものである。この成果の以前も、以後も 1960 年頃まで、これに勝る一地域内の土偶の集成は見あたらず、本県では昭和 39 年（1964 年）の『福島県史第 6 巻資料編 1 考古資料』の発刊まで待たねばならない。

この図版中に収録された土偶は、東京帝国大学理学部人類学教室所蔵（現在は東京大学総合研究博物館所蔵）、東北帝国大学奥羽史料調査部所蔵（現在は東北大学大学院文学研究科所蔵）、さらに県内各地の個人所有の資料などである。東京大学所蔵の資料は、平成 8 年（1996 年）に磯前順一・赤沢威によって『東京大学総合研究博物館所蔵縄文時代土偶・その他土製品カタログ』（東京大学総合研究博物館編）として詳細な記録が刊行されている。収録されている本県関係資料は 45 点、そのうち土偶は、三貫地貝塚、新地貝塚など 16 点である。その多くは、旧東京帝国大学が調査した資料であるが、県内の所有者からの寄贈品が散見される。また弥生式命名の一人である蒔田鎗次郎が寄贈した郡山市桑野出土の土偶や三貫地貝塚を世に知らしめた館岡虎三の寄贈品がある。会津若松市八幡遺跡出土の縄文中期の土偶の 1 点は、今から 114 年前の旧制会津中學生の寄贈品を『東京人類学会雑誌』に報告したものである。今回、一世紀の時を経てふるさとの地を踏む。また大田和広畑遺跡の晩期終末の土偶は、磐城線の開通直後に浜通りを調査した大野延太郎が収集したもので、詳細な実測図とともに紹介されている。

今回の展示は、県外に所蔵されている本県出土土偶と、1970 年代以降の調査によって県内各地から出土した土偶を展示して、本県の土偶の世界を堪能していただく企画である。



『福島縣發見石器時代土偶圖版』



大田和広畑



八幡

『東京人類学会雑誌』で図示された本県の土偶

東京大学総合研究博物館所蔵の土偶

東京大学総合研究博物館所蔵土偶は、かつて東京帝国大学理学部人類学教室が所蔵していた。遺跡名は、人類学教室の表示で示した。1の会津若松市八幡遺跡土偶は、旧制会津中學生の鈴木清美が同級生の小山博から譲り受け、人類学教室へ寄贈し、さらに東京人類学会がリアルな実測図とともに発表した中期の資料である。6～10の三貫地貝塚出土土偶は、昭和29年（1954年）に鈴木尚博士が中心となり発掘調査した際に出土した後・晩期の土偶で、6は遮光器形土偶である。11・12の新地小川貝塚は、現在本県では新地貝塚として登録されている。2点ともに大正13年（1924年）、松村瞭・山内清男・柴田常恵・小此木忠七郎らの調査で出土した後期後半の土偶である。







※ 旧人類学教室所蔵品の資料には、現在どの遺跡であるか不明なものがある。17は守山遺跡出土とされている動物形土製品で、おそらく猪を模した後期前半のものと推定される。守山遺跡は存在しないが、この地域には著名な荒小路遺跡があり、同遺跡出土の可能性が高い。13の桑野遺跡の土偶は、蒔田鎗次郎が寄贈した後期の土偶である。真石貝塚の資料は、晩期後半の人面付き土版、門田遺跡の資料は、おそらく会津若松市門田町八幡前遺跡周辺と考えられる晩期の亀形土製品である。

東北大学所蔵の土偶

会津坂下町^{かまどはら}竈原遺跡の資料は、大正時代末に内務省が行った阿賀川蛇行狭窄部開削工事によって出土したものである。この工事では、縄文後期中葉から後葉の遺物が多量に出土しており、なかでも喜田貞吉が命名した片口がついた液体濾過土器は有名である。資料の多くは、喜田が立ち上げた奥羽史料調査部が購入して現在に至り、一部の資料は、地元^{かまどはら}に所蔵されている。2点の土偶は、ともに後期中葉に位置づけられる。



縄文早期・前期の土偶

日本における土偶の出現は、近年の調査例から一部の地域で草創期まで遡ることがわかっている。福島県では、浜通り地方の上田郷VI遺跡や荻原遺跡の例から、早期末から前期初頭に土偶の出現が認められる。顔面や四肢の表現が稚拙で、土器と同様に粘土に繊維を混和して焼き上げている特色がある。この段階の資料は浜通り地方の一部に限って発見されている。その後は、^{はちまんだて}八万館遺跡など中通り地方北部に大木2a式段階に顔面を窪ませたり、腕部を表現した土偶が現れる。前期後半には、北上川下流域の影響を受けたのか、山中B遺跡のような板状の土偶が認められ、この種の土偶が中期の土偶につながっていく。前期後半の土偶では、文様の表現は希で、土偶下端部を抉って脚部を表現している特色がある。





24 上田郷VI遺跡（広野町）
福島県教育委員会蔵



25 ～ 29 山中B遺跡（新地町）
福島県教育委員会蔵

縄文中期の土偶

福島県内の中期の土偶は、前半から中頃にかけて、脚部を表現した自立可能な土偶と、前期から継続する脚部を簡略化した土偶の二つの類型が確立する。顔面表現は目・鼻・口・耳が写実性を帯び、一部の土偶には耳飾りを表現したものも認められる。また頭部に貫通孔をもち、紐を通して吊すことのできる土偶も出現する。文様は沈線で渦や弧線を描くものが多く見られるが、中期後半には文様の簡略化と幾何学化の傾向をたどる。

中期終末の阿武隈川中流域では、顔面が橋状の連結部で前面にせり出す土偶が出現し、これが後期前半のハート形土偶につながっていく。



30～34 月崎A遺跡（福島市）福島市教育委員会蔵



35,36 和台遺跡（福島市）
福島市教育委員会蔵



37 曲木沢遺跡（郡山市）
郡山市教育委員会蔵





42



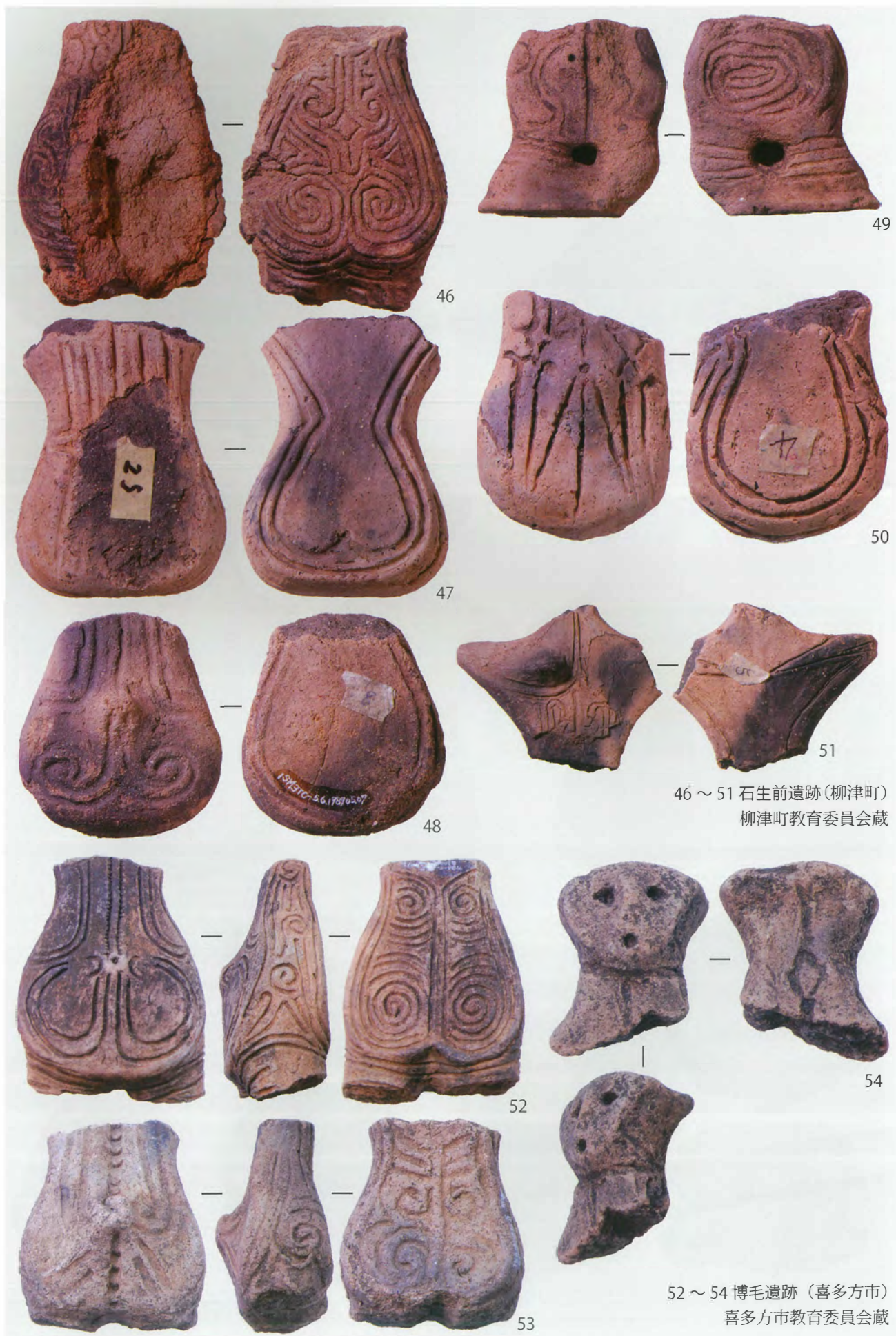
43



44

45

42 ~ 45 石生前遺跡（柳津町）柳津町教育委員会蔵









コラム 人体を模した文様を持つ土偶

縄文時代中期の終わり頃、背中中の模様の特徴を持つ土偶が現れる。円と直線で幾何学的に描かれた模様は、じっと見ていると、人の姿のように見える。



82



83



84



85



86



81 高木遺跡（本宮市）
福島県教育委員会蔵



87

82～87 和台遺跡（福島市）
福島市教育委員会蔵



88



89

88,89 川窪遺跡（新地町）
新地町教育委員会蔵



90 朴木原遺跡（新地町）
新地町教育委員会蔵



91 (表採資料) 日照田下堂前 (喜多方市)
喜多方市教育委員会蔵

92



94



93

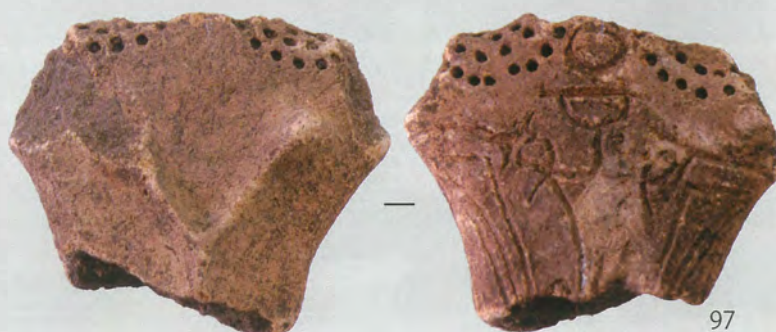
92,93 博毛遺跡 (喜多方市)
喜多方市教育委員会蔵



95



96



97

94 ~ 97 上小島A遺跡 (西会津町)
西会津町教育委員会蔵



縄文後期の土偶 1

中期末に出現した、橋状の連結部で顔面を前面に出した土偶の成立は、土器の橋状取手と密接な関係がある。顔面をせり出したことは結果として顔面表現を豊かにし、柴原 A 遺跡や荒小路遺跡に代表されるハート形土偶を生みだす。ハート形土偶の出現は、中期末からの土偶の系譜の中で、阿武隈川中流域で起こったとされており、本県の後期前半の土偶は、他の地域に比して多く見つかった。

この時期の土偶は、しっかりと足を踏ん張るものが目立つように、自立可能な土偶が主体である。体部の文様も土器の文様と関連があり、時代の流れとともに沈線の細線化と文様の簡略化の傾向へ向かう。県内資料の多くは破片資料であるが、柴原 A 遺跡出土土偶・荒小路遺跡出土土偶（福島県教育委員会蔵、まほろん保管）は、土偶の全容を伺うことができる貴重なものである。



102 柴原 A 遺跡（三春町）福島県教育委員会蔵



103 荒小路遺跡(郡山市)
福島県教育委員会蔵



104

105

106

104 ~ 106 荒小路遺跡 (郡山市) 福島県教育委員会蔵



107 和台遺跡 (福島市)
福島市教育委員会蔵



108



109



110



111

108 ~ 111 柳橋遺跡 (郡山市)
郡山市教育委員会蔵







125



126

125, 126 町B遺跡 (郡山市)
郡山市教育委員会蔵



127



128



129



130



131



132

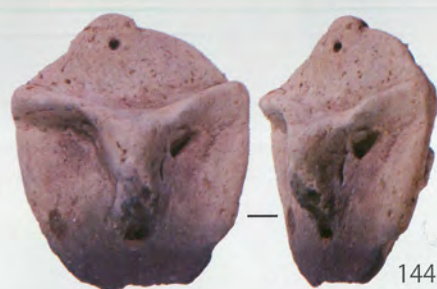
127 ~ 132 愛谷遺跡 (いわき市)
いわき市教育委員会蔵





142 愛谷遺跡（いわき市）いわき市教育委員会蔵

143



144



145

143 ~ 145 網取貝塚（いわき市）
いわき市教育委員会蔵



146



147



148

146 ~ 147 博毛遺跡（喜多方市）喜多方市教育委員会蔵



149



150

149,150 上小島A遺跡（西会津町）西会津町教育委員会蔵



151 白津遺跡（猪苗代町）個人蔵

縄文後期の土偶 2

後期中葉から晩期にかけての土偶は、頭部が山形を呈するものが多く、一般に山形土偶と称されている。後期前半の土偶は、顔面がハート形であったり、下肢を大きく踏ん張らせたり、立体的なものが多いが、後期後半では、平面的な板状の土偶が多くなる。

上岡遺跡の土偶（152）は、後期中葉の土偶で、「^{うずくま}蹲る土偶」「^{ぞんきよ}蹲踞土偶」と俗称されている。このような形態の土偶は東北地方に散見され、青森県八戸市風張1遺跡の土偶は国宝に指定されている。風張1遺跡の土偶が合掌しているのに対し、上岡遺跡の土偶は左側に腕を組み、あたかも何かを思案しているようである。年代的には、文様の特色から、上岡遺跡の土偶が風張1遺跡の土偶より一段階古いと考えられている。東北大学大学院文学研究科所蔵の竈原遺跡出土土偶（18）は、上岡遺跡の土偶とほぼ同時期のもので、欠損しているものの、おそらく山形の頭部形状であったものと考えられる。



152 上岡遺跡（福島市）
福島市教育委員会蔵



153,154 町B遺跡（郡山市）
郡山市教育委員会蔵



155,156 四十内遺跡（郡山市）
郡山市教育委員会蔵



157 ~ 159 町B遺跡（郡山市）郡山市教育委員会蔵

160 作B遺跡（いわき市）
いわき市教育委員会蔵



161



162



163



164



165



166



167



168

161 ~ 168 西方前遺跡(三春町)
三春町教育委員会蔵

縄文晩期の土偶・土版

縄文晩期の土偶といえば、遮光器土偶が著名である。遮光器土偶は東北地方北部で流行した土偶であるが、福島県内でも若干確認されている。本県資料には、東北地方北部から搬入されたものや、遮光器土偶を模倣したものが散見される。金山遺跡出土土偶（172）は搬入品と考えられる。

本県では晩期前半の土偶の出土数は少ないが、晩期後半になると個性的な土偶が、また板状の土製品である土版が多く作られる。会津地方の晩期後半から終末の土偶の頭部には、被り物や頭髪を表現した土偶が散見される。土版の多くは人面を表現しており、用途の上で土偶との関連を深く考えさせるものである。



169 西方前遺跡（三春町）
三春町教育委員会蔵



170 道平遺跡（大熊町）
大熊町教育委員会蔵



171 浦尻貝塚（南相馬市）
南相馬市教育委員会蔵



172 金山遺跡（喜多方市）
喜多方市教育委員会蔵



173 植ノ畑遺跡（南相馬市）
福島県立相馬高等学校蔵



174

175

174,175 三貫地貝塚（新地町）
福島県立相馬高等学校蔵



176 三貫地貝塚（新地町）
新地町教育委員会蔵



177 羽白C遺跡（飯館村）
福島県教育委員会蔵



178 沢目木B遺跡（小野町）
福島県教育委員会蔵



179

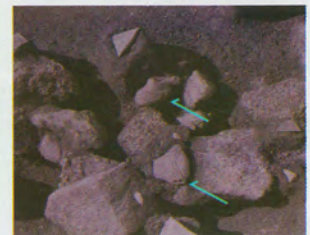


180

179,180 町B遺跡（郡山市）
郡山市教育委員会蔵



181 南諏訪原遺跡（福島市）
福島市教育委員会蔵



土偶出土状況
いわき市教育委員会提供

182 差塩B遺跡（いわき市）
いわき市教育委員会蔵



183 西田H遺跡（小野町）
福島県教育委員会蔵



184 沢口遺跡（喜多方市）
喜多方市教育委員会蔵





191 墓料遺跡（会津若松市）
会津若松市教育委員会蔵





197

199



198



202 三貫地貝塚（新地町）
福島県立相馬高等学校蔵



200



201

197 ~ 201 道平遺跡(大熊町)
大熊町教育委員会蔵



203



204

203,204 羽白C遺跡（飯館村）
福島県教育委員会蔵



205 荒屋敷遺跡（三島町）
三島町教育委員会蔵



206



207

206,207 荒屋敷遺跡（三島町）
三島町教育委員会蔵



208 (レプリカ) 小和瀬遺跡（三島町）
福島県立博物館蔵(原資料は個人蔵)



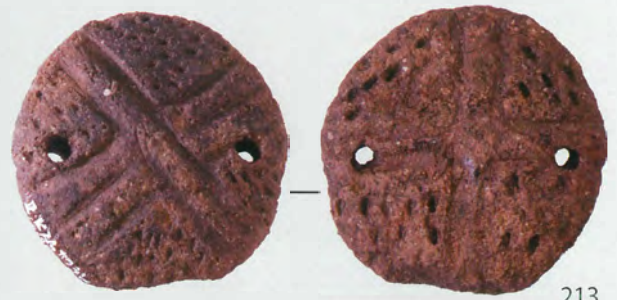
209 沢目木B遺跡（小野町）
福島県教育委員会蔵



210 羽白C遺跡（飯舘村）
福島県教育委員会蔵



211



213



212



214



215

211 ~ 215 荒屋敷遺跡(三島町)
三島町教育委員会蔵



216 金山遺跡(喜多方市)
喜多方市教育委員会蔵

展示資料一覧

番号	図版	遺跡名	所在地	長さ	幅	厚さ	文献	番号	図版	遺跡名	所在地	長さ	幅	厚さ	文献
1	208	小和瀬遺跡	三島町桧原小和瀬	24.7	12.5		1	77	120	矢大臣遺跡	小野町湯沢字新田	(8.5)	6.2	(2.9)	12
2	3	大田和広畑遺跡	南相馬市小高区大田和	(11.0)	11.6		1,2	78	121	矢大臣遺跡	小野町湯沢字新田	(5.3)	5.3	(2.3)	12
3	4	塚の前遺跡	浪江町酒井	(9.8)	4.6		1,2	79	122	矢大臣遺跡	小野町湯沢字新田	(8.0)	(7.3)	4.5	12
4	5	塚の前遺跡	浪江町酒井	(9.4)	(8.7)		1,2	80	124	矢大臣遺跡	小野町湯沢字新田	(9.3)	(7.7)	—	12
5	1	八幡遺跡	会津若松市一箕町八幡	(5.4)	4.9		1,2	81	123	矢大臣遺跡	小野町湯沢字新田	(10.6)	(8.8)	6.4	12
6	2	八幡遺跡	会津若松市一箕町八幡	(4.9)	(6.6)		1,2	82	171	浦尻貝塚	南相馬市小高区浦尻	(6.5)	6.0	5.2	13
7	16	門田遺跡	会津若松市門田町	(8.0)	(5.8)		1,2	83	173	植ノ畑遺跡	南相馬市鹿島区上板窪	(5.5)	(8.0)	5.2	14
8	14	堀田遺跡	田村市常葉町山根	(5.8)	(5.0)		1,2	84	202	三貫地貝塚	新地町駒ヶ嶺	(8.1)	6.8	3.2	
9	7	三貫地貝塚	新地町駒ヶ嶺	(4.8)	5.4		2	85	174	三貫地貝塚	新地町駒ヶ嶺	(7.2)	(5.7)	2.4	
10	9	三貫地貝塚	新地町駒ヶ嶺	10.5	(4.3)		2	86	175	三貫地貝塚	新地町駒ヶ嶺	(7.5)	(5.5)	2.9	
11	8	三貫地貝塚	新地町駒ヶ嶺	(5.2)	2.2		2	87	88	川窪遺跡	新地町杉目字川窪	(10.0)	(9.4)	5.4	15
12	10	三貫地貝塚	新地町駒ヶ嶺	(11.1)	(9.0)		2	88	176	三貫地貝塚	新地町駒ヶ嶺	(8.7)	(7.4)	3.8	
13	6	三貫地貝塚	新地町駒ヶ嶺	(7.0)	8.2		2	89	89	川窪遺跡	新地町杉目字川窪	(8.6)	(6.0)	2.5	
14	11	新地小川貝塚	新地町小川	(8.4)	(4.9)		1,2	90	90	朴木原遺跡	新地町福田朴木原	(9.6)	(8.3)	3.7	
15	12	新地小川貝塚	新地町小川	(5.2)	(2.3)		2	91	200	道平遺跡	大熊町大川原字道平	(7.1)	8.3	3.2	16
16	17	守山遺跡	郡山市田村町守山	(1.8)	7.2		2	92	197	道平遺跡	大熊町大川原字道平	(13.7)	(6.5)	3.3	16
17	13	桑野遺跡	郡山市桑野	(9.2)	(6.7)		1,2	93	170	道平遺跡	大熊町大川原字道平	(7.9)	9.1	8.2	17
18	15	真石貝塚	いわき市小名浜南富岡字真石	(8.2)	5.6		1,2	94	198	道平遺跡	大熊町大川原字道平	(6.7)	(5.7)	2.6	18
19		百聞沢遺跡	浪江町北幾世橋	8.9	6.2		1,2	95	201	道平遺跡	大熊町大川原字道平	(2.0)	(2.1)	(1.6)	17
20		百聞沢遺跡	浪江町北幾世橋	10.0	11.1		2	96	199	道平遺跡	大熊町大川原字道平	(6.0)	(4.5)	2.3	17
21	18	竈原遺跡	会津坂下町長井	(16.6)	(12.2)	4.5	1,3	97	46	石生前遺跡	柳津町郷戸字石生前	(12.1)	(8.7)	(5.4)	19
22	19	竈原遺跡	会津坂下町長井	(18.2)	(14.3)	(5.2)	1,3	98	49	石生前遺跡	柳津町郷戸字石生前	(7.6)	(7.3)	2.8	19
23	152	上岡遺跡	福島市飯坂町東湯野字上岡	21.5	12.2	13.6	4	99	43	石生前遺跡	柳津町郷戸字石生前	(9.1)	(5.2)	(2.4)	19
24	30	月崎A遺跡	福島市飯坂町中野字月崎	(11.5)	5.6	(2.6)	5	100	42	石生前遺跡	柳津町郷戸字石生前	(15.3)	(15.0)	(5.8)	19
25	71	月崎A遺跡	福島市飯坂町中野字月崎	(4.5)	8.1	1.8	5	101	44	石生前遺跡	柳津町郷戸字石生前	(3.7)	5.4	4.8	19
26	68	月崎A遺跡	福島市飯坂町中野字月崎	(7.5)	5.8	2.5	6	102	45	石生前遺跡	柳津町郷戸字石生前	(8.7)	(8.3)	5.4	19
27	31	月崎A遺跡	福島市飯坂町中野字月崎	(8.3)	5.8	3.5	6	103	48	石生前遺跡	柳津町郷戸字石生前	(7.5)	(7.0)	2.3	19
28	33	月崎A遺跡	福島市飯坂町中野字月崎	(6.1)	4.4	2.3	6	104	47	石生前遺跡	柳津町郷戸字石生前	(10.0)	(7.3)	(2.5)	19
29	69	月崎A遺跡	福島市飯坂町中野字月崎	(6.3)	(5.2)	3.4	6	105	51	石生前遺跡	柳津町郷戸字石生前	(8.4)	(10.3)	3.4	19
30	66	月崎A遺跡	福島市飯坂町中野字月崎	(7.5)	8.4	1.2	6	106	50	石生前遺跡	柳津町郷戸字石生前	(6.5)	5.2	3.1	19
31	70	月崎A遺跡	福島市飯坂町中野字月崎	(5.6)	(7.2)	2.1	6	107	205	荒屋敷遺跡	三島町桑原字荒屋敷	(9.2)	(10.4)	6.5	20
32	72	月崎A遺跡	福島市飯坂町中野字月崎	(4.7)	6.9	2.1	6	108	207	荒屋敷遺跡	三島町桑原字荒屋敷	(7.4)	(4.5)	3.6	20
33	67	月崎A遺跡	福島市飯坂町中野字月崎	(6.1)	4.2	1.7	6	109	206	荒屋敷遺跡	三島町桑原字荒屋敷	(4.9)	7.0	3.5	20
34	65	月崎A遺跡	福島市飯坂町中野字月崎	(4.9)	3.0	1.3	6	110	211	荒屋敷遺跡	三島町桑原字荒屋敷	(10.4)	7.5	2.4	20
35	34	月崎A遺跡	福島市飯坂町中野字月崎	(3.3)	3.7	2.7	6	111	215	荒屋敷遺跡	三島町桑原字荒屋敷	8.0	6.3	1.3	20
36	32	月崎A遺跡	福島市飯坂町中野字月崎	(8.8)	6.9	3.7	6	112	212	荒屋敷遺跡	三島町桑原字荒屋敷	6.3	4.7	2.1	20
37	181	南諏訪原遺跡	福島市松川町字南諏訪原	(4.5)	(4.2)	2.2	7	113	213	荒屋敷遺跡	三島町桑原字荒屋敷	(5.4)	5.3	1.5	20
38	196	南諏訪原遺跡	福島市松川町字南諏訪原	(3.6)	(5.9)	3.5	7	114	214	荒屋敷遺跡	三島町桑原字荒屋敷	6.1	3.4	1.4	20
39	6	和台遺跡	福島市明治字南和台	(4.3)	4.2	(4.3)	8	115	136	愛谷遺跡	いわき市好間町愛谷	15.2	(5.9)	3.5	21
40	74	和台遺跡	福島市明治字南和台	(4.9)	3.5	(2.0)	8	116	134	愛谷遺跡	いわき市好間町愛谷	(5.4)	6.4	(5.0)	21
41	107	和台遺跡	福島市明治字南和台	(6.0)	(5.9)	(3.4)	8	117	133	愛谷遺跡	いわき市好間町愛谷	(6.8)	5.2	(4.2)	21
42	75	和台遺跡	福島市明治字南和台	(4.2)	4.2	(3.4)	8	118	132	愛谷遺跡	いわき市好間町愛谷	(7.5)	(7.1)	(3.3)	21
43	73	和台遺跡	福島市明治字南和台	(5.5)	5.5	(3.0)	8	119	135	愛谷遺跡	いわき市好間町愛谷	(5.7)	(9.0)	4.4	21
44	79	和台遺跡	福島市明治字南和台	(7.8)	(3.8)	2.1	8	120	137	愛谷遺跡	いわき市好間町愛谷	(5.4)	(3.9)	(2.7)	21
45	84	和台遺跡	福島市明治字南和台	(5.4)	(4.7)	1.7	8	121	131	愛谷遺跡	いわき市好間町愛谷	(7.8)	(6.8)	(5.1)	21
46	78	和台遺跡	福島市明治字南和台	(5.5)	(7.3)	3.0	8	122	128	愛谷遺跡	いわき市好間町愛谷	(5.5)	5.6	(3.4)	21
47	77	和台遺跡	福島市明治字南和台	(9.4)	(9.3)	3.1	8	123	127	愛谷遺跡	いわき市好間町愛谷	(5.5)	(5.5)	(3.2)	21
48	82	和台遺跡	福島市明治字南和台	(6.6)	(7.1)	2.8	8	124	130	愛谷遺跡	いわき市好間町愛谷	(6.5)	(4.8)	(3.8)	21
49	86	和台遺跡	福島市明治字南和台	(13.8)	(8.0)	3.7	8	125	129	愛谷遺跡	いわき市好間町愛谷	(6.2)	(5.0)	3.4	21
50	76	和台遺跡	福島市明治字南和台	(6.1)	5.5	2.5	8	126	138	愛谷遺跡	いわき市好間町愛谷	(8.0)	(4.6)	3.1	21
51		和台遺跡	福島市明治字南和台	(2.8)	3.9	2.2	9	127	142	愛谷遺跡	いわき市好間町愛谷	(11.7)	(6.5)	3.3	21
52	35	和台遺跡	福島市明治字南和台	(11.2)	7.4	4.2	9	128	141	愛谷遺跡	いわき市好間町愛谷	(5.7)	(5.5)	2.4	21
53	80	和台遺跡	福島市明治字南和台	(5.9)	(3.2)	1.4	9	129	139	愛谷遺跡	いわき市好間町愛谷	(11.3)	(8.9)	2.3	21
54	83	和台遺跡	福島市明治字南和台	(6.3)	3.7	2.1	9	130	140	愛谷遺跡	いわき市好間町愛谷	(13.6)	(8.9)	4.9	21
55	87	和台遺跡	福島市明治字南和台	(5.7)	(6.4)	1.7	9	131	144	網取貝塚	いわき市小名浜下神白字網取	(5.8)	4.7	(3.3)	22
56	85	和台遺跡	福島市明治字南和台	(4.0)	3.3	2.1	9	132	145	網取貝塚	いわき市小名浜下神白字網取	(9.9)	(6.2)	2.8	22
57	22	八万館遺跡	二本松市八万館	5.9	6.1	1.7	10	133	143	網取貝塚	いわき市小名浜下神白字網取	(10.6)	(9.8)	4.3	22
58	23	八万館遺跡	二本松市八万館	(7.0)	(5.2)	2.4	10	134	160	作B遺跡	いわき市三和町上永井字作	(6.9)	(3.8)	1.9	23
59	113	西方前遺跡	三春町西方字西方前	(7.7)	(7.7)	(4.2)	11	135	182	差塩B遺跡	いわき市三和町差塩字道添	(10.3)	(7.3)	3.5	24
60	112	西方前遺跡	三春町西方字西方前	(7.7)	5.6	(5.5)	11	136	191	墓料遺跡	会津若松市一箕町八幡字墓料	(14.1)	(14.2)	5.3	25
61	163	西方前遺跡	三春町西方字西方前	(4.1)	(4.1)	(2.3)	11	137	183	西田H遺跡	小野町葛蒲谷字西田	(16.6)	12.0	(3.3)	26
62	114	西方前遺跡	三春町西方字西方前	(7.0)	4.5	2.7	11	138	178	沢目木B遺跡	小野町雁股田字沢目木	(7.2)	(6.6)	(3.3)	27
63	167	西方前遺跡	三春町西方字西方前	(16.6)	(11.7)	(5.1)	11	139	209	沢目木B遺跡	小野町雁股田字沢目木	7.5	5.1	2.0	27
64	161	西方前遺跡	三春町西方字西方前	(6.3)	6.2	(2.5)	11	140	29	山中B遺跡	新地町駒ヶ嶺字山中	(28.1)	(20.4)	(3.1)	28
65	162	西方前遺跡	三春町西方字西方前	(4.9)	4.8	2.2	11	141	25	山中B遺跡	新地町駒ヶ嶺字山中	(5.1)	(6.0)	(2.3)	28
66	164	西方前遺跡	三春町西方字西方前	(4.5)	7.2	3.7	11	142	26	山中B遺跡	新地町駒ヶ嶺字山中	(5.1)	(5.2)	(1.2)	28
67	165	西方前遺跡	三春町西方字西方前	(6.2)	5.7	3.5	11	143	27	山中B遺跡	新地町駒ヶ嶺字山中	(3.7)	(4.5)	(1.3)	28
68	115	西方前遺跡	三春町西方字西方前	(5.8)	(4.2)	2.1	11	144	28	山中B遺跡	新地町駒ヶ嶺字山中	(4.6)	(6.0)	(2.2)	28
69		西方前遺跡	三春町西方字西方前	(9.3)	10.2	3.6	11	145	21	荻原遺跡	南相馬市小高区羽倉字荻原	(4.2)	(2.9)	1.6	29
70	117	西方前遺跡	三春町西方字西方前	(11.7)	(10.2)	5.2	11	146	20	荻原遺跡	南相馬市小高区羽倉字荻原	7.3	(4.2)	1.6	29
71	166	西方前遺跡	三春町西方字西方前	(5.7)	(4.0)	1.9	11	147		常世原田遺跡	喜多方市塩川町常世字原田	(5.0)	(6.0)	1.6	30
72	116	西方前遺跡	三春町西方字西方前	(5.3)	(3.2)	1.5	11	148		大原遺跡	喜多方市塩川町中屋沢字新田	(10.8)	5.5	6.3	30
73	168	西方前遺跡	三春町西方字西方前	(7.0)	(5.0)	4.2	11	149		刈摩山遺跡	喜多方市塩川町常世字刈摩山	(9.4)	5.9	1.5	30
74	119	西方前遺跡	三春町西方字西方前	(8.4)	(5.2)	(6.8)	11	150	151	白津遺跡	猪苗代町八幡白津	(12.0)	(11.5)	8.0	31
75	118	西方前遺跡	三春町西方字西方前	(8.3)	(5.1)	(6.5)	11	151	158	町B遺跡	郡山市西田町鬼生田字町	(6.8)	(5.0)	(2.2)	32
76	169	西方前遺跡	三春町西方字西方前	(20.0)	16.6	10.2	11	152	154	町B遺跡	郡山市西田町鬼生田字町	(9.5)	(6.9)	(5.4)	32

番号	図版	遺跡名	所在地	長さ	幅	厚さ	文献	番号	図版	遺跡名	所在地	長さ	幅	厚さ	文献
153	125	町B遺跡	郡山市西田町鬼生田字町	(13.6)	8.2	2.8	32	229		徳定A遺跡	郡山市田村町徳定	(9.1)	(8.8)	(3.7)	48
154	157	町B遺跡	郡山市西田町鬼生田字町	(9.3)	(5.7)	2.1	32	230		松ヶ作A遺跡	須賀川市雨田字松ヶ作	(3.5)	4.6	2.3	49
155	179	町B遺跡	郡山市西田町鬼生田字町	(6.4)	(4.5)	1.5	32	231	102	柴原A遺跡	三春町柴原	24.5	10.5	6.9	50
156	180	町B遺跡	郡山市西田町鬼生田字町	(11.7)	(12.5)	3.3	32	232		柴原A遺跡	三春町柴原	(7.6)	7.2	(5.5)	50
157	126	町B遺跡	郡山市西田町鬼生田字町	(4.7)	(4.8)	(3.5)	32	233		柴原A遺跡	三春町柴原	(3.4)	2.9	(1.9)	50
158	153	町B遺跡	郡山市西田町鬼生田字町	(4.8)	(4.3)	(3.7)	32	234		柴原A遺跡	三春町柴原	(5.4)	(4.5)	(2.4)	50
159	159	町B遺跡	郡山市西田町鬼生田字町	(8.0)	(4.4)	(2.8)	32	235		柴原A遺跡	三春町柴原	(7.0)	(5.5)	(2.6)	50
160	155	四十内遺跡	郡山市逢瀬町河内字四十内	(5.8)	4.8	3.1	33	236		柴原A遺跡	三春町柴原	(7.8)	(5.0)	2.8	50
161	156	四十内遺跡	郡山市逢瀬町河内字四十内	(4.6)	5.7	2.9	33	237		柴原A遺跡	三春町柴原	(10.7)	(6.4)	3.4	50
162	111	柳橋遺跡	郡山市中田町柳橋字町	(6.8)	10.0	5.8	34	238		柴原A遺跡	三春町柴原	(8.9)	(8.2)	2.8	50
163	109	柳橋遺跡	郡山市中田町柳橋字町	(4.4)	4.0	(3.1)	34	239		鬼渡A遺跡	会津坂下町勝大宇鬼渡	7.5	5.7	2.3	51
164	108	柳橋遺跡	郡山市中田町柳橋字町	(7.6)	6.4	4.7	34	240		羽白C遺跡	飯館村大倉字羽白	3.4	4.2	1.5	52
165	110	柳橋遺跡	郡山市中田町柳橋字町	(4.5)	4.9	1.5	34	241		羽白C遺跡	飯館村大倉字羽白	12.0	9.3	2.3	52
166	37	曲木沢遺跡	郡山市西田町根木屋字曲木沢	14.8	6.7	4.3	35	242		羽白C遺跡	飯館村大倉字羽白	5.3	6.7	2.6	52
167	92	博毛遺跡	喜多方市高郷町大田賀字博毛	(7.2)	7.2	2.6	36	243		羽白C遺跡	飯館村大倉字羽白	5.0	3.5	1.7	52
168	54	博毛遺跡	喜多方市高郷町大田賀字博毛	(3.7)	(3.0)	(2.1)	36	244		羽白C遺跡	飯館村大倉字羽白	3.8	5.6	2.8	52
169	146	博毛遺跡	喜多方市高郷町大田賀字博毛	(5.2)	5.3	2.7	36	245		羽白C遺跡	飯館村大倉字羽白	5.5	4.8	3.0	52
170	148	博毛遺跡	喜多方市高郷町大田賀字博毛	(11.9)	(9.7)	5.4	36	246	203	羽白C遺跡	飯館村大倉字羽白	(4.2)	(3.8)	1.9	52
171	147	博毛遺跡	喜多方市高郷町大田賀字博毛	(10.4)	5.4	8.5	36	247		羽白C遺跡	飯館村大倉字羽白	3.9	5.2	1.9	52
172	52	博毛遺跡	喜多方市高郷町大田賀字博毛	(11.5)	8.4	4.8	36	248		羽白C遺跡	飯館村大倉字羽白	3.4	5.7	1.5	52
173	53	博毛遺跡	喜多方市高郷町大田賀字博毛	(7.3)	6.3	3.7	36	249	204	羽白C遺跡	飯館村大倉字羽白	(5.2)	(6.5)	3.8	52
174		博毛遺跡	喜多方市高郷町大田賀字博毛	(10.3)	(10.1)	3.5	36	250	177	羽白C遺跡	飯館村大倉字羽白	(7.3)	(7.1)	1.9	52
175	93	博毛遺跡	喜多方市高郷町大田賀字博毛	(9.4)	(4.5)	2.7	36	251		羽白C遺跡	飯館村大倉字羽白	7.8	5.4	2.6	52
176	172	金山遺跡	喜多方市山都町木幡字金山	(5.1)	(5.6)	2.8	37	252		羽白C遺跡	飯館村大倉字羽白	7.1	5.0	2.7	52
177	194	金山遺跡	喜多方市山都町木幡字金山	(7.0)	7.7	2.1	37	253		羽白C遺跡	飯館村大倉字羽白	8.9	6.0	2.7	52
178	195	金山遺跡	喜多方市山都町木幡字金山	5.5	4.5	1.2	37	254		羽白C遺跡	飯館村大倉字羽白	6.1	4.0	2.2	52
179	192	金山遺跡	喜多方市山都町木幡字金山	(5.2)	8.7	2.6	37	255	210	羽白C遺跡	飯館村大倉字羽白	8.7	7.0	1.7	52
180	193	金山遺跡	喜多方市山都町木幡字金山	(9.5)	(4.4)	2.7	37	256		上田郷VI遺跡	広野町上北迫字上田郷	(6.5)	(6.4)	(3.7)	53
181	216	金山遺跡	喜多方市山都町木幡字金山	17.6	10.7	1.7	37	257	24	上田郷VI遺跡	広野町上北迫字上田郷	(5.5)	(4.5)	1.0	54
182	184	沢口遺跡	喜多方市山都町一ノ木字沢口	(13.0)	(6.0)	(3.2)	38	258		角間遺跡	磐梯町更科字角間	(7.3)	(7.0)	(3.4)	55
183	63	上林遺跡	喜多方市山都町木幡字道東	(5.6)	(6.4)	4.2	39	259		角間遺跡	磐梯町更科字角間	(9.7)	(4.8)	4.0	55
184	64	上林遺跡	喜多方市山都町木幡字道東	(11.8)	8.0	5.1	40	260		角間遺跡	磐梯町更科字角間	(8.4)	5.2	3.1	55
185	91	「日照田下堂前」	喜多方市山都町木幡	(5.3)	(5.5)	(2.8)		261		又兵衛田A遺跡	須賀川市小倉字高柴	(5.0)	11.8		56
186	55	上小島A遺跡	西会津町登世島字塩田	(8.7)	6.8	(2.8)	41	262		桑名邸遺跡	天栄村大里字桑名邸	(7.2)	(8.3)	3.4	57
187	56	上小島A遺跡	西会津町登世島字塩田	(5.2)	(5.2)	(3.7)	41	263		桑名邸遺跡	天栄村大里字桑名邸	(4.9)	(5.2)	(3.1)	57
188	150	上小島A遺跡	西会津町登世島字塩田	(11.5)	10.0	3.3	41	264		桑名邸遺跡	天栄村大里字桑名邸	(4.0)	(3.7)	(2.1)	57
189	149	上小島A遺跡	西会津町登世島字塩田	5.8	(7.1)	2.8	41	265		桑名邸遺跡	天栄村大里字桑名邸	(5.3)	4.4	(2.5)	57
190	94	上小島A遺跡	西会津町登世島字塩田	(12.1)	(7.2)	4.0	41	266		桑名邸遺跡	天栄村大里字桑名邸	(4.6)	4.0	(2.8)	57
191	95	上小島A遺跡	西会津町登世島字塩田	(9.6)	(9.0)	5.5	41	267		桑名邸遺跡	天栄村大里字桑名邸	(5.7)	(6.2)	3.2	57
192	96	上小島A遺跡	西会津町登世島字塩田	(6.5)	(7.7)	2.3	41	268		桑名邸遺跡	天栄村大里字桑名邸	(6.2)	(5.2)	3.1	57
193	97	上小島A遺跡	西会津町登世島字塩田	(6.7)	(8.1)	3.1	41	269		桑名邸遺跡	天栄村大里字桑名邸	(8.1)	6.4	3.4	58
194	57	上小島A遺跡	西会津町登世島字塩田	(8.3)	(9.0)	4.5	41	270		桑名邸遺跡	天栄村大里字桑名邸	(4.8)	(5.1)	(2.3)	58
195	58	上小島A遺跡	西会津町登世島字塩田	(6.9)	5.0	1.9	41	271		桑名邸遺跡	天栄村大里字桑名邸	(5.4)	3.7	(3.8)	58
196	59	小屋田遺跡	西会津町野沢字小屋田	(7.6)	(7.0)	3.0	42	272		越田和遺跡	三春町蛇石字越田和	6.8	(2.9)	1.4	59
197	61	小屋田遺跡	西会津町野沢字小屋田	(6.2)	(6.4)	5.8	42	273		塩喰岩陰遺跡	西会津町野沢字塩喰家ノ上	(5.7)	(3.6)	1.9	60
198	62	小屋田遺跡	西会津町野沢字小屋田	(6.5)	5.6	2.5	42	274		塩喰岩陰遺跡	西会津町野沢字塩喰家ノ上	(5.3)	3.5	(1.5)	60
199	60	小屋田遺跡	西会津町野沢字小屋田	(6.9)	(8.0)	3.2	42	275		塩喰岩陰遺跡	西会津町野沢字塩喰家ノ上	(2.7)	(2.1)	1.6	60
200		弓手原遺跡	福島市飯坂町茂庭字弓手原	(11.4)	9.5	3.9	43	276		浜井場B遺跡	須賀川市雨田字浜井場	(6.1)	6.0	2.6	61
201	98	高木遺跡	本宮市高木字高木	(21.0)	(9.0)	3.3	44	277		浜井場B遺跡	須賀川市雨田字浜井場	(7.0)	6.7	2.6	61
202	99	高木遺跡	本宮市高木字高木	(14.7)	7.0	2.1	44	278		宮前遺跡	飯館村大倉字宮前	8.6	8.0	4.5	62
203	100	高木遺跡	本宮市高木字高木	(12.7)	(7.0)	2.2	44	279		羽白D遺跡	飯館村大倉字羽白	9.8	4.4	4.4	63
204	81	高木遺跡	本宮市高木字高木	(8.7)	(3.5)	3.0	44	280		日向南遺跡	飯館村大倉字日向	5.5	4.8	1.8	64
205	101	高木遺跡	本宮市高木字高木	(15.6)	(7.3)	3.3	44	281		日向南遺跡	飯館村大倉字日向	5.1	4.7	2.0	64
206	41	七郎内C遺跡	石川町字下ノ内	(14.0)	11.1	5.4	45								
207	40	七郎内C遺跡	石川町字下ノ内	(6.6)	4.6	3.1	45								
208	39	七郎内C遺跡	石川町字下ノ内	(4.0)	6.6	1.5	45								
209		七郎内C遺跡	石川町字下ノ内	(5.3)	8.4	2.2	45								
210	38	七郎内C遺跡	石川町字下ノ内	(4.6)	4.3	2.8	45								
211	188	一斗内遺跡	須賀川市小倉字一斗内	(8.0)	8.1	6.0	46								
212	186	一斗内遺跡	須賀川市小倉字一斗内	(5.7)	(4.5)	2.9	46								
213		一斗内遺跡	須賀川市小倉字一斗内	7.3	(4.7)	2.4	46								
214	185	一斗内遺跡	須賀川市小倉字一斗内	(8.7)	(5.4)	4.0	46								
215		一斗内遺跡	須賀川市小倉字一斗内	(4.6)	(4.8)	2.0	46								
216	190	一斗内遺跡	須賀川市小倉字一斗内	(6.8)	(4.6)	1.5	46								
217	189	一斗内遺跡	須賀川市小倉字一斗内	(4.2)	(4.6)	3.5	46								
218	187	一斗内遺跡	須賀川市小倉字一斗内	(5.7)	7.7	5.5	46								
219		一斗内遺跡	須賀川市小倉字一斗内	(8.5)	4.2	3.3	46								
220		一斗内遺跡	須賀川市小倉字一斗内	(6.2)	(5.8)	0.9	46								
221		一斗内遺跡	須賀川市小倉字一斗内	7.0	6.9	2.6	46								
222	103	荒小路遺跡	郡山市田村町谷田川字荒小路	17.7	10.2	5.7	47								
223	105	荒小路遺跡	郡山市田村町谷田川字荒小路	(6.3)	6.1	(4.6)	47								
224		荒小路遺跡	郡山市田村町谷田川字荒小路	(4.6)	4.7	(3.6)	47								
225	104	荒小路遺跡	郡山市田村町谷田川字荒小路	(5.1)	4.2	(2.6)	47								
226		荒小路遺跡	郡山市田村町谷田川字荒小路	(5.4)	5.8	(3.0)	47								
227		荒小路遺跡	郡山市田村町谷田川字荒小路	(3.6)	3.8	(2.8)	47								
228	106	荒小路遺跡	郡山市田村町谷田川字荒小路	(8.5)	3.8	2.6	47								

※計測値の単位は cm である。報告書等において計測値が報告されているものは、報告によった。報告されていないものについては、実測図または実物資料により計測した概数である。遺存値・推定値には（ ）を付して示した。

※文献の番号は、参考文献一覧の番号と対応している。

参考文献一覧

1	福島県	1927	『福島縣史蹟名勝天然記念物調査報告第三 福島縣發見石器時代土偶圖版』
2	東京大学総合研究博物館	1996	『東京大学総合研究博物館蔵縄文時代土偶・その他土製品カタログ[増訂版]』
3	東北大学文学部	1982	『東北大学文学部考古学資料図録』
4	文献資料刊行会	1973	『上岡遺跡』
5	福島市教育委員会	1994	『月崎A遺跡(第10・15・17・18次調査)』
6	福島市教育委員会	1997	『月崎A遺跡(第6・16・18～26次調査)』
7	福島市教育委員会	1991	『南諏訪原遺跡』
8	飯野町教育委員会	2003	『和台遺跡』
9	新井達哉	2009	『縄文人を描いた土器・和台遺跡』
10	二本松市教育委員会	1995	『八万館遺跡』
11	三春町教育委員会	1987	『西方前遺跡II 土製品・石製品篇』
12	小野町教育委員会	1992	『矢大臣(新田)遺跡』
13	小高町教育委員会	2005	『浦尻貝塚1』
14	鹿島町史編纂委員会	1999	『鹿島町史第3巻』
15	新地町教育委員会	1987	『川窪遺跡発掘調査報告』
16	大熊町教育委員会	1980	『道平遺跡』
17	大熊町教育委員会	1983	『道平遺跡の研究』
18	大熊町	1984	『大熊町史 第2巻』
19	柳津町教育委員会	1991	『石生前遺跡発掘調査報告書』
20	三島町教育委員会	1990	『荒屋敷遺跡II』
21	いわき市教育委員会	1985	『愛谷遺跡』
22	いわき市教育委員会	2003	『綱取貝塚』
23	いわき市教育委員会	2004	『作B遺跡』
24	いわき市教育委員会	1995	『東北横断自動車道関連遺跡II』
25	会津若松市教育委員会	2002	『墓料遺跡』
26	福島県教育委員会	2005	『こまちダム遺跡発掘調査報告3』
27	福島県教育委員会	2006	『こまちダム遺跡発掘調査報告4』
28	福島県教育委員会	2007	『一般国道6号相馬バイパス遺跡発掘調査VI』
29	福島県教育委員会	2010	『常磐自動車道遺跡調査報告59』
30	喜多方市教育委員会	2010	『塩川町史第3巻』
31	穴澤咏光	1973	「土偶集成(一)」『会津と考古』第1号
32	郡山市教育委員会	2005	『町B遺跡』
33	郡山市教育委員会	1984	『河内下郷遺跡群IV』
34	郡山市教育委員会	2003	『柳橋遺跡』
35	郡山市教育委員会	1990	『郡山東部10』
36	高郷村教育委員会	1985	『博毛遺跡』
37	山都町教育委員会	1986	『金山遺跡』
38	山都町教育委員会	1983	『沢口遺跡』
39	山都町教育委員会	1999	『上林遺跡』
40	山都町教育委員会	1990	『山都町史資料集 第2集 原始・古代・中世』
41	西会津町教育委員会	2003	『上小島A遺跡』
42	西会津町教育委員会	2002	『芝草・小屋田遺跡』
43	福島県教育委員会	1996	『摺上川ダム遺跡発掘調査報告I』
44	福島県教育委員会	2003	『阿武隈川右岸築堤遺跡発掘調査報告3』
45	福島県教育委員会	1982	『母畑地区遺跡発掘調査報告X』
46	福島県教育委員会	1982	『母畑地区遺跡発掘調査報告16』
47	福島県教育委員会	1985	『母畑地区遺跡発掘調査報告19』
48	福島県教育委員会	1981	『東北新幹線関連遺跡発掘調査報告III』
49	福島県教育委員会	2001	『県道古殿須賀川線(うつくしま未来博関連)遺跡発掘調査報告』
50	福島県教育委員会	1989	『三春ダム関連遺跡発掘調査報告2』
51	福島県教育委員会	1989	『国営会津農水利事業関連遺跡調査報告VII』
52	福島県教育委員会	1988	『真野ダム関連遺跡発掘調査報告12』
53	福島県教育委員会	1999	『常磐自動車道遺跡調査報告18』
54	福島県教育委員会	2001	『常磐自動車道遺跡調査報告22』
55	福島県教育委員会	1990	『東北横断自動車道遺跡調査報告8』
56	福島県教育委員会	1982	『母畑地区遺跡発掘調査報告8』
57	福島県教育委員会	1989	『矢吹地区遺跡発掘調査報告4』
58	福島県教育委員会	1990	『矢吹地区遺跡発掘調査報告6』
59	福島県教育委員会	1996	『三春ダム関連遺跡発掘調査報告8』
60	福島県教育委員会	1994	『東北横断自動車道遺跡調査報告25』
61	福島県教育委員会	1988	『母畑地区遺跡発掘調査25』
62	福島県教育委員会	1984	『真野ダム関連遺跡発掘調査報告5』
63	福島県教育委員会	1987	『真野ダム関連遺跡発掘調査報告10』
64	福島県教育委員会	1990	『真野ダム関連遺跡発掘調査報告15』
	福島県	1964	『福島県史第6巻資料編1考古資料』
	喜田貞吉	1928	「会津地方出土の液体濾過土器に就いて」『東北文化研究』1—5
	中村五郎	1998	「鈴木清美 一箕八幡の遺跡二題」『福島考古』第39号
	東京人類学会	1906	「岩代北会津郡の石器時代土偶」『東京人類学会雑誌』21—242
	大野延太郎	1901	「磐城線十日の旅」『東京人類学会雑誌』16—181

福島県文化財センター白河館

平成 22 年度ふくしま里帰り展「ふくしまの土偶」

平成 22 年 9 月 25 日～ 11 月 28 日

平成 22 年 10 月 17 日

会場：福島県文化財センター白河館

文化財講演会「縄文土偶の世界」

会場：福島県文化財センター白河館

講師：原田昌幸氏（文化庁主任文化財調査官）

平成 22 年 12 月 7 日～平成 23 年 1 月 30 日

平成 23 年 1 月 16 日

会場：福島県立博物館（福島県立博物館共催）

講演会「土偶のはなし」

会場：福島県立博物館（福島県立博物館主催）

講師：藤沼邦彦氏（前弘前大学教授）

協力機関・協力者（順不同、敬称略）

会津若松市教育委員会、いわき市教育委員会、いわき市考古資料館、
大熊町教育委員会、小野町教育委員会、喜多方市教育委員会、郡山市教育委員会、
郡山市歴史資料館、大安場史跡公園、財団法人郡山市文化・学び振興公社、
新地町教育委員会、東京大学総合研究博物館、東北大学大学院文学研究科、中村五郎、
二本松市教育委員会、二本松市歴史資料館、西会津町教育委員会、福島県立図書館、
福島県立博物館、福島県立相馬高等学校、福島市教育委員会、福島市ふれあい歴史館、
南相馬市教育委員会、三春町教育委員会、三春町歴史民俗資料館、三島町教育委員会、
柳津町教育委員会

大変お世話になりました。御礼申し上げます。

表紙の画像

三貫地貝塚（新地町） 東京大学総合研究博物館蔵

竈原遺跡（会津坂下町） 東北大学大学院文学研究科蔵

墓料遺跡（会津若松市） 会津若松市教育委員会蔵

上岡遺跡（福島市） 福島市教育委員会蔵

荒小路遺跡（郡山市） 福島県教育委員会蔵

平成 22 年度 ふくしま里帰り展図録 ふくしまの土偶

発行日 平成 22 年 9 月 25 日

発行 財団法人福島県文化振興事業団

編集 福島県文化財センター白河館

〒 961 - 0835 白河市白坂一里段 86

Tel 0248-21-0700

印刷 株式会社ヨシダコーポレーション

郡山市田村町上行合字北川田 22-1

平成 22 年度 ふくしま里帰り展図録

ふくしまの 土偶



福島県文化財センター●白河館